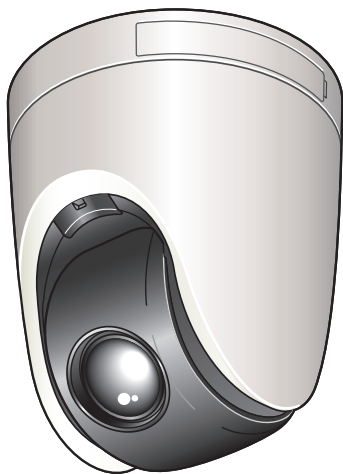
簡易／設置説明書

カラーカメラ
品番 VCC-HD5400

ご使用前に本書、付属の CD-ROM「INSTRUCTION MANUAL」、別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、いつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管してください。

- 設置は必ず資格のある技術者にご依頼ください。
- カメラで撮影した人物やその他の映像で、個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取り扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

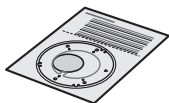
⚠ お守りください

- 天井に本機を取り付ける際の穴空けなどは、注意しておこなってください。また、配線用の電源・映像ケーブルなどは設置しやすいように引き出しておいてください。
- 本機を設置する際は、天井に対する防水処理を正しくおこなってください。
- 本機の総重量を考慮して、平面で耐久性がある場所をお選びください。
- 本機は、－ 10℃～＋ 50℃の環境に設置してください。（結露なきこと）
- 静電気による破損を防ぐため、本機に触れる前に身近な金属（ドアノブなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

■ 付属品

① パターンシート　② マウンティングプレート　③ 六角レンチ　④ フィクサー　⑤ CD-ROM

■ 動作環境を確認する

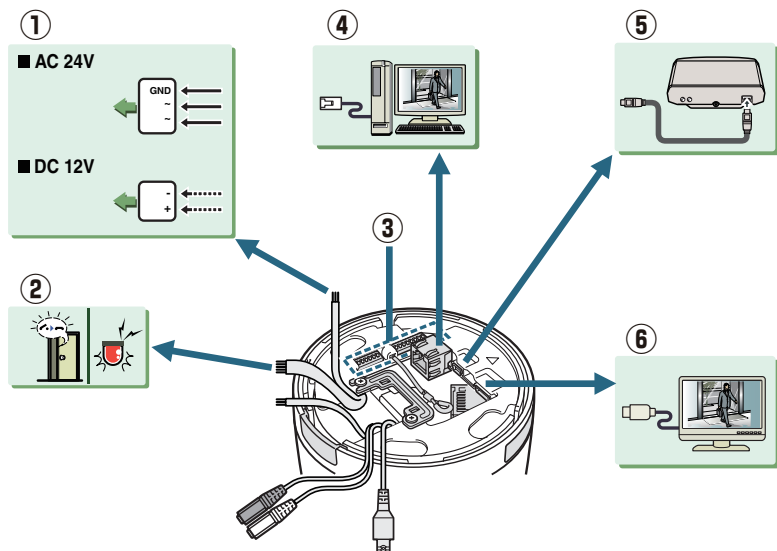
ネットワーク操作の動作環境は次のとおりです。

- **パソコン**　：IBM PC/AT とその互換機
- **OS**　：Windows XP Professional/Windows Vista
- **CPU**　：Core2Duo E6700 2.66GHz 以上
- **メモリー**　：Windows XP: 1GB 以上
Windows Vista: 2GB 以上
- **インターフェイス**　：10Base-T/100Base-TX（RJ-45 端子）
- **ディスプレイカード**　：1920 × 1200 ピクセル以上
- **グラフィックチップ**　：ATI RADEON HD2600 シリーズ以上
nVIDIA GeForce 8600 シリーズ以上
nVIDIA Quadro FX550 シリーズ以上
- **ブラウザ**　：Internet Explorer Ver.6.0 SP2 以上および
Internet Explorer Ver.7.0

■ カメラのIPアドレスを自動設定することができます。

複数台のカメラを接続するときに便利です。
付属の CD-ROM からソフトウェア「Auto IP Setup」をダウンロードしてください。

各部の名称とはたらき

接続ケーブルの種類については、ケーブルに添付されている「ケーブルラベル」でご確認いただけます。
各端子の接続方法の詳細については「基本接続」をご参照ください（☞ P7）。

① AC24V/DC12V 電源ケーブル

② アラームケーブル
- アラーム入力ケーブル：外部スイッチや赤外線センサーなどを接続すると、侵入者などをアラーム検知します。
- アラーム出力ケーブル：アラーム通報機器（ブザーやランプなど）を接続します。

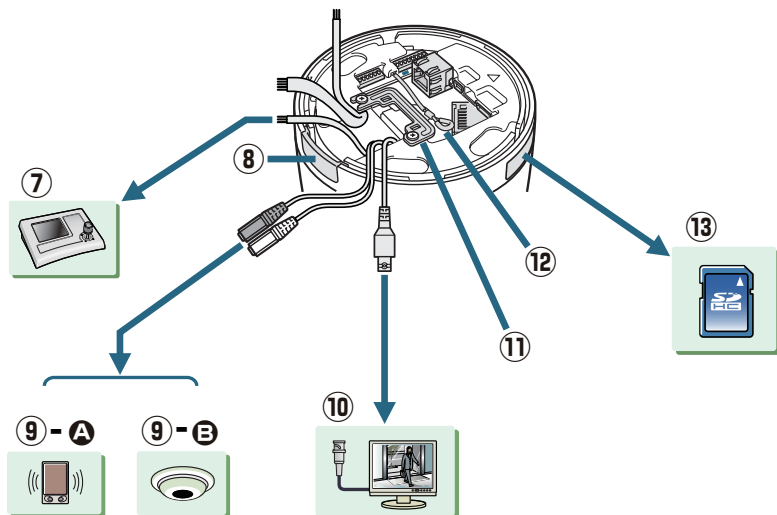
③ DIP スイッチ（☞ P10「制御／アドレス設定」）

Ⓐ **制御スイッチ**：ボーレートやプロトコルなどを設定します。
Ⓑ **アドレススイッチ**：制御用のカメラアドレスを設定します。

④ ネットワーク端子（LAN: RJ-45 タイプ、PoE 対応）

⑤ EX-HDD 端子（USB タイプ）
ライブ映像を外付けハードディスクに記録する場合は、別売の専用ハードディスクケース（VA-HDC4000）に 2.5” HDD（SATA）を装着してから接続してください。

⑥ HDMI 端子
高繊細な HD（High Definition）映像を出力します。HDMI 搭載のハイビジョン対応モニターに接続してください。

各部の名称とはたらき

⑦ **コントロールケーブル**
別売のシステムコントローラーを接続すると、カメラを遠隔操作できます。

⑧ **配線溝カバー**
本機の配線を天井面に沿っておこなう場合は、配線溝カバーをはずしてください。

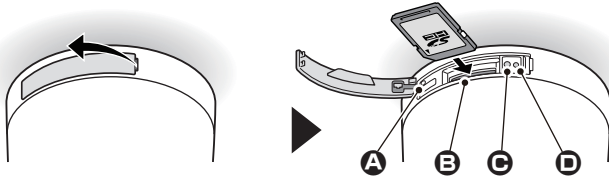
⑨ **音声端子**
Ⓐ 音声出力端子（黒：3.5 ミニジャック）
アンプ内蔵スピーカーやモニターの音声入力端子と接続します。
Ⓑ 音声入力端子（白：3.5 ミニジャック）
ライブ画面の音声を聞いたり、映像と音声を同時に記録する場合は、外部マイクを接続します。

本端子は、3.5mm モノラルマイクまたはラインモノラル信号（ステレオ信号の場合は左チャンネルのみ有効）に対応します。

⑩ **モニター出力端子（BNC タイプ）**
モニターなどの映像機器に接続してください。カメラに電源が入ると、モニターにライブ映像が表示されます。

⑪ **ケーブルホルダー**

⑫ **セーフティーケーブル**
本機を取り付けるときは、付属のマウンティングプレートのフックに引っ掛けてください。

⑬ 側面カバー

Ⓐ 落下防止ネジ

Ⓑ SD カードスロット

Ⓒ 電源ランプ

本機に電源が入ると点灯します。

通電中は、本機の状態に応じてランプが点滅します。
- SDメモリーカードの記録終了中
- ファームウェアの更新中
- SDメモリーカードにエラー発生中（速い点滅）

Ⓓ SD CARD ボタン

- **記録停止：** ボタンを押すと電源ランプが点滅し、SD メモリーカードを取り出し可能な状態になると点灯に変わります。
- **記録再開：** ボタンを押すと電源ランプが点滅し、SD メモリーカードを認識すると点灯に変わります。

記録メディアの装着

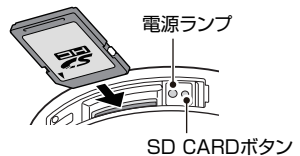
- 記録メディアを装着するときは、必ずカメラの電源を切ってください。
- 新品の記録メディアを装着した場合は、ネットワーク操作のSD/HDD画面でフォーマットしてください。（☞ 電子マニュアル）

■ SD メモリーカード

- **カードの入れかた**

ライブ映像を SD メモリーカードに記録する場合はカバーを開け、カードスロットにカチッとロックされるまで差し込んでください。

- **カードの取り出しかた**

SD CARD ボタンを押し、電源ランプが点滅から点灯に変わったことを確認して取り出してください。

■ 外付けハードディスク

別売の専用ハードディスクケース（VA-HDC4000）に当社指定のハードディスクを装着し、EX-HDD 端子に接続してください。

ハードディスクの装着方法など、詳しくはハードディスクケースの取扱説明書をご参照ください。

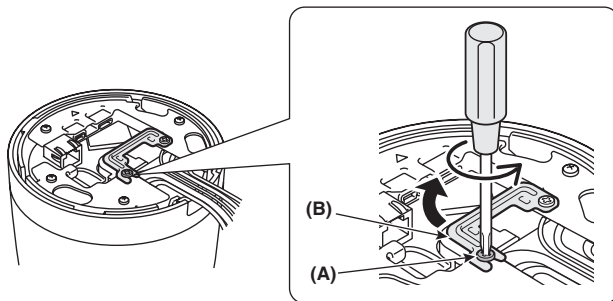
取付けかた

1 付属のパターンシートでケーブル穴／ネジ穴をあける

• 天井からケーブルを引き出しておいてください。

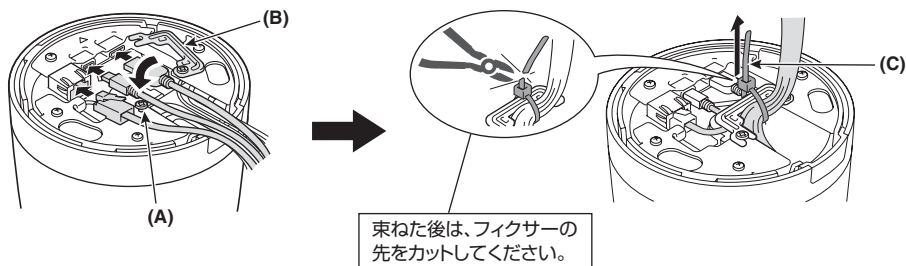
2 付属のマウンティングプレートを市販のネジで天井に取り付ける

（ネジ M4 相当）長さ：40 mm 以上、頭部：Φ 8.3 mm

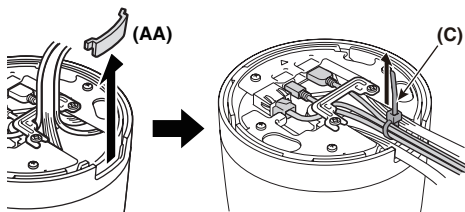
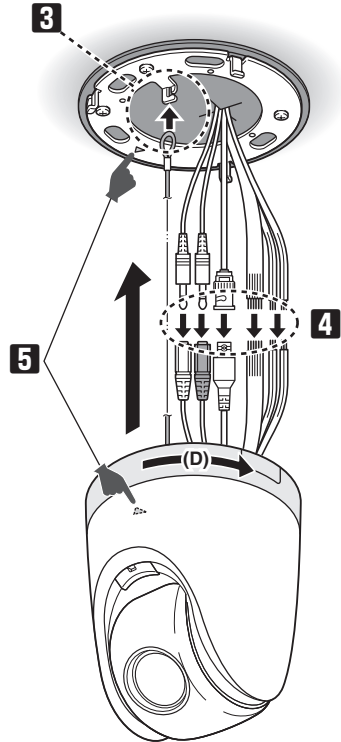
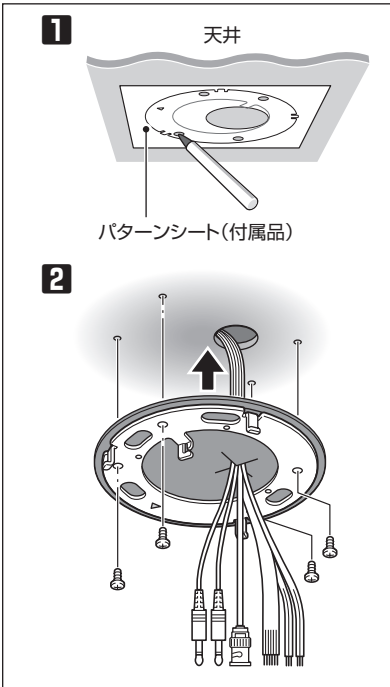
• ネジ (A) をゆるめてケーブルホルダー (B) をはずしておく

3 カメラ底面のセーフティケーブルをマウンティングプレートにひっかける

4 天井からのケーブルとカメラ本体のケーブルを接続する（☞ P7「基本接続」）

① 各端子（LAN、USB、HDMI）に接続したら、ケーブルを抑えながらケーブルホルダー **(B)** を元の位置に戻し、ネジ **(A)** を締める

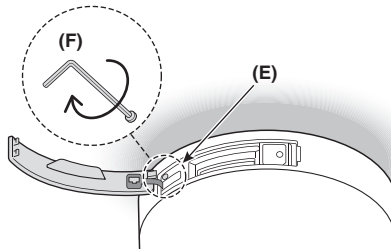
② 付属のフィクサー **(C)** で、すべてのケーブルを束ね、取り付けやすいように整形する

カメラ側面からケーブルを出す場合

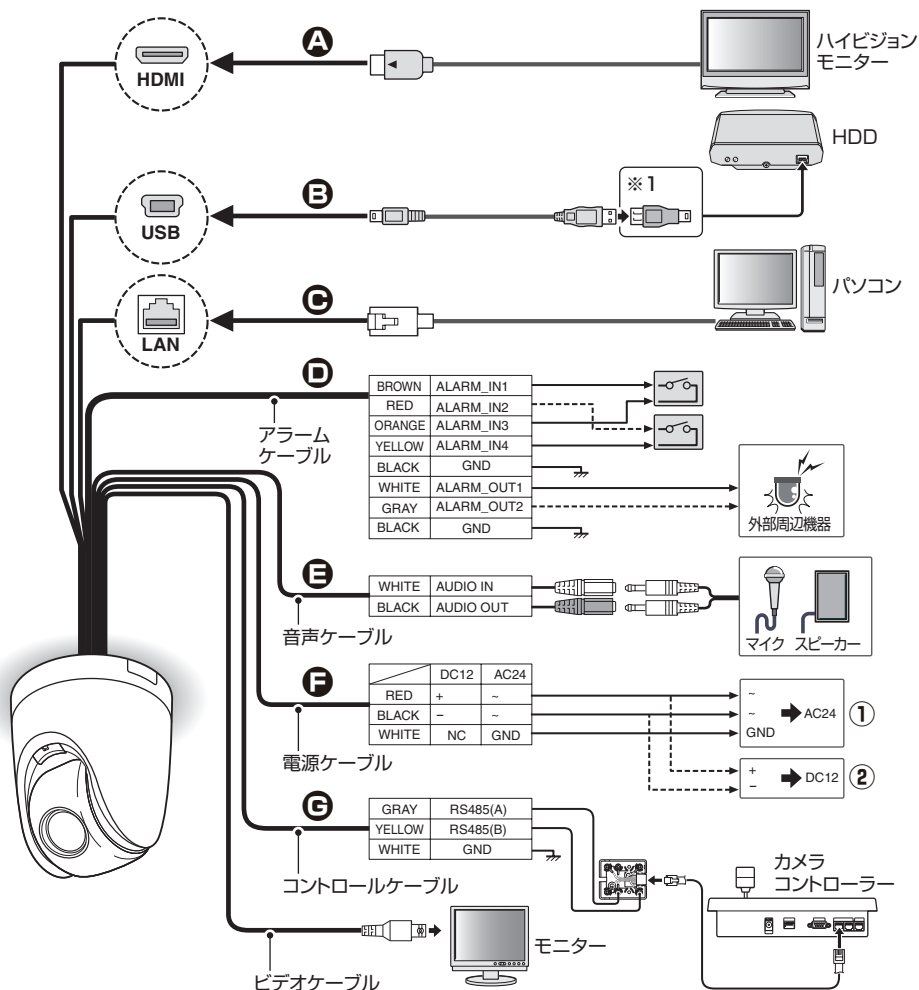
配線溝カバー **(AA)** を取りはずす

USB ケーブルまたは HDMI ケーブルを使用する場合は、ケーブルを抜けにくくするため、付属のフィクサー (C) で LAN ケーブルと一緒に固定してください。
設置後、ケーブルを整形する際、引っ張らないようご注意ください。

5 三角印(▲)を合わせてカメラ本体を取り付け、矢印 (D) の方向に回す

- 確実に取り付けられていることを確認してください。

6 側面カバーを開け、落下防止ネジ (E) を付属の六角レンチ (F) で締める

- 終了したら必ずカバーを閉めてください。

- ご使用中は本機の表面が熱くなりますが、故障ではありません。
  設置・調整や取り外し時に熱くなった部分を長時間触ると低温やけどの原因になることがあります。
- 使用直後のSDカードは高温になることがあります。カードを取りはずす時は、必ず本機の電源を切り、本機の温度が下がってから外してください。

基本接続

- 接続するときは、必ずすべての機器の電源を切ってください。
- 接続を誤ると発煙や故障の原因となります。接続の際は各機器の取扱説明書をよくお読みいただき、正しく接続してください。

Ⓐ ハイビジョンモニターの接続

HD 映像出力端子（HDMI）に HDMI ケーブルを接続します。

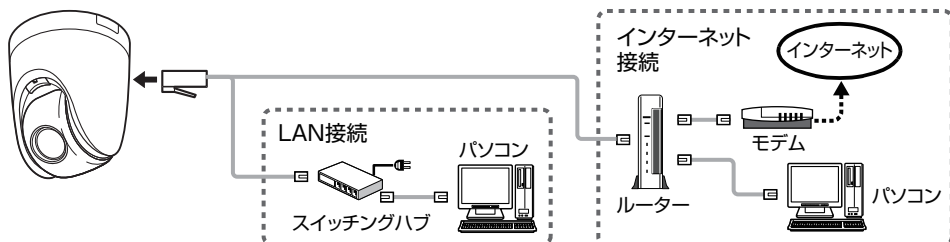
HD 映像出力端子（HDMI）とモニター出力端子（MONITOR OUT）の同時出力はできません。同時接続している場合は、HD 映像出力端子が優先します。

Ⓑ 外付けハードディスクの接続

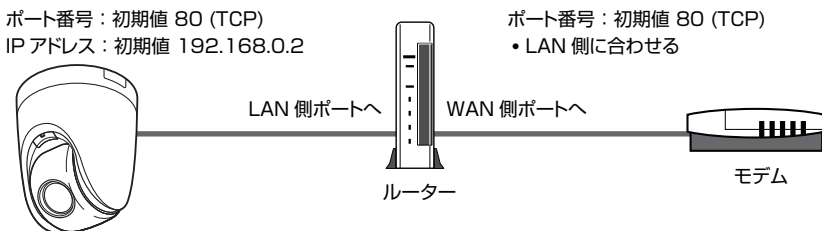
別売の専用ハードディスクケース（VA-HDC4000）に装着してから接続してください。

※1：カメラ側にUSBケーブル ミニB端子を接続し、市販品の変換コネクタ（Aタイプ：メス、ミニBタイプ：オス）にUSBケーブル A端子とハードディスクケースを接続してください。

Ⓒ ネットワークの接続

カメラの搭載機能はすべてパソコンからネットワーク操作するように設計されています。
本機のネットワーク端子（LAN）とパソコンを LAN ケーブルで接続すると、パソコンの Web ブラウザからカメラをネットワーク操作できます。

- **LANケーブルは、シールドタイプCAT5以上、最長100メートルのものをご使用ください。**
- **LAN接続の場合はストレートタイプ、カメラとパソコンを直接接続する場合はクロスタイプのケーブルを使用します。**
- **対応ブラウザはInternet Explorer Ver.6.0 SP2以上、およびInternet Explorer Ver.7.0です。**

■ インターネット接続について

映像用のポートに対して、ブロードバンドルーターのポートフォワード設定が必要です。
ポートフォワードの設定については、ルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。

複数のカメラを接続するときは、１台目のカメラと異なるポート番号をネットワーク操作の「ネットワーク設定」で設定してください。（☞ 電子マニュアル）

■ PoE 電源の使用

本機は PoE（Power over Ethernet）対応です。近くに AC24V/DC12V の電源がない場所でも、PoE 対応ハブを使用することでカメラを設置することができます。

- **PoEで電源供給する場合は、カメラの電源(AC24V/DC12V)は使用しないでください。**
- **カメラの接続が終了するまで、PoE対応ハブまたはPoE給電アダプターに電源を供給しないでください。**
- **PoE電源を使用すると、外付けハードディスクへの記録はできません。**

PoE 電源用スイッチハブを使用すると、伝送距離を延長することができます。
距離の延長については、スイッチングハブの仕様をご確認ください。

☞ PoE 電源の接続方法は、電子マニュアルを参照してください。

Ⓓ アラームケーブルの接続

各接続ケーブルは、24AWG より太いケーブルをご使用ください。（最長 600m）

① アラーム信号を出力する（ALARM OUT1-2）

アラーム出力ケーブルにアラーム通報機器（ブザーやランプなど）を接続してください。
２系統のアラーム出力が可能です。

（☞ 電子マニュアル）
- ネットワーク操作のアラーム設定で各ケーブルの出力条件を設定してください。
- アラーム出力はリモート操作も可能です。この場合は、アラーム設定の[アラーム出力]を“リモート”に設定してください。

② アラーム信号を入力する（ALARM IN1-4）

アラーム入力ケーブルにアラームスイッチや赤外線センサーなどを接続してください。
４系統のアラーム入力が可能です。

（☞ 電子マニュアル）
- ネットワーク操作のアラーム設定で各ケーブルの入力条件を設定してください。
- アラーム入力をデイナイト切換用として使用する場合は、以下の設定をおこなってください。
  - カメラ設定の［DAY/NIGHT］を“カラー”に設定し、［外部コントロール］で使用するケーブルを選択する
  - アラーム設定の［極性］で信号極性を設定する
- アラーム入力1に外部スイッチを接続すると、スイッチの操作で指定の時刻に合わすことができます。この場合は、ネットワーク操作の時刻設定で[時計合わせ]の設定をおこなってください。

Ⓔ 音声端子の接続

- **音声入力端子（白）**

ライブ画面で音声を聞いたり、映像と音声を同時に記録する場合は、別売の外部マイクを接続します。

- **音声出力端子（黒）**

アンプ内蔵スピーカーやモニターの音声入力端子などに接続します。

本端子は、3.5mm モノラルマイクまたはラインモノラル信号（ステレオ信号の場合は左チャンネルのみ有効）に対応します。

Ⓕ 電源の接続

電源端子（AC24V/DC12V）に電源を接続します。

① AC24V 電源と接続する場合

極性はありませんが、GND 端子（アース端子）には必ずアース線を接続してください。

② DC12V 電源と接続する場合

DC12V 電源と接続する場合は、カメラ側の端子に極性（＋ / －）があります。
極性を間違えると本機が破損することがありますので、必ず極性を確認して接続してください。

- 必ず18AWGより太いケーブルで接続してください。
- 配線距離が長くなる場合は、AC24V/DC12V端子の電圧が動作範囲であることを確認してから使用ケーブルを決めてください。
- PoEで電源供給する場合は、カメラの電源(AC24V/DC12V)は使用しないでください。

Ⓖ コントローラーの接続

別売のシステムコントローラーを接続すると、カメラを遠隔操作できます。

プロトコル、ボーレート、アドレスを設定してください。
（「制御／アドレス設定」をご参照ください。☞ P10）

制御／アドレス設定

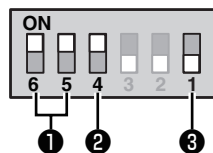
カメラにコントローラーを接続した場合は、インターフェース基板の制御スイッチとアドレススイッチの設定が必要です。

■ 制御スイッチ

通信速度やプロトコルなどを設定します。

- スイッチ2と3は使用しません。
- 表中の太字は工場出荷時の設定です。

❶ 通信速度（ボーレート）

接続した機器の通信速度は、カメラの通信速度と同じ設定にしてください。

通信速度	スイッチ 6	スイッチ 5
2400	OFF	OFF
4800	ON	OFF
9600	OFF	ON
19200	**ON**	**ON**

プロトコルを“PELCO”に設定した場合は“2400”に設定してください。

❷ プロトコル

カメラをコントロールするプロトコルを選択してください。

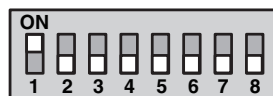
プロトコル	スイッチ 4	対応プロトコル
SSP (SANYO)	**OFF**	三洋 SSP と高速 SSP の自動切換
PELCO	ON	PELCO-D と PELCO-P の自動切換

❸ 終端

カメラを複数台接続する場合は、最終端になる機器の終端設定（スイッチ 1）を“ON”に設定し、それ以外の機器はすべて“OFF”にしてください。

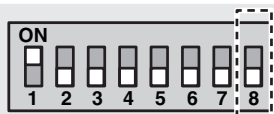
■ アドレススイッチ

RS485 で通信する場合は、アドレス（カメラ番号）をカメラごとに割り当て設定します。
アドレスはスイッチの ON/OFF で設定します。

詳細は、「アドレス設定スイッチ一覧表」を参照してください。（次ページ）

アドレス設定スイッチ一覧表

表中の○印は“ON”を意味します。表に従ってスイッチを設定してください。

プロトコルが“SSP (SANYO)”の場合：
- 設定できるアドレス：1 ～ 127
- スイッチ8の設定は“OFF”です。

プロトコルが“PELCO”の場合：
- 設定できるアドレス：1 ～ 255
- アドレスを128 ～ 255に設定するときは、スイッチ8を“ON”にしてください。

アドレス（カメラ番号）			スイッチ No.						
プロトコル									
SANYO	PELCO		1	2	3	4	5	6	7
–	–	128							
1	1	129	○						
2	2	130		○					
3	3	131	○	○					
4	4	132			○				
5	5	133	○		○				
6	6	134		○	○				
7	7	135	○	○	○				
8	8	136				○			
9	9	137	○			○			
10	10	138		○		○			
11	11	139	○	○		○			
12	12	140			○	○			
13	13	141	○		○	○			
14	14	142		○	○	○			
15	15	143	○	○	○	○			
16	16	144					○		
17	17	145	○				○		
18	18	146		○			○		
19	19	147	○	○			○		
20	20	148			○		○		
21	21	149	○		○		○		
22	22	150		○	○		○		
23	23	151	○	○	○		○		
24	24	152				○	○		
25	25	153	○			○	○		
26	26	154		○		○	○		
27	27	155	○	○		○	○		
28	28	156			○	○	○		
29	29	157	○		○	○	○		
30	30	158		○	○	○	○		
31	31	159	○	○	○	○	○		
32	32	160						○	
33	33	161	○					○	
34	34	162		○				○	
35	35	163	○	○				○	
36	36	164			○			○	
37	37	165	○		○			○	
38	38	166		○	○			○	
39	39	167	○	○	○			○	
40	40	168				○		○	
41	41	169	○			○		○	
42	42	170		○		○		○	
43	43	171	○	○		○		○	
44	44	172			○	○		○	
45	45	173	○		○	○		○	
46	46	174		○	○	○		○	
47	47	175	○	○	○	○		○	
48	48	176					○	○	
49	49	177	○				○	○	
50	50	178		○			○	○	
51	51	179	○	○			○	○	
52	52	180			○		○	○	
53	53	181	○		○		○	○	
54	54	182		○	○		○	○	
55	55	183	○	○	○		○	○	
56	56	184				○	○	○	
57	57	185	○			○	○	○	
58	58	186		○		○	○	○	
59	59	187	○	○		○	○	○	
60	60	188			○	○	○	○	
61	61	189	○		○	○	○	○	
62	62	190		○	○	○	○	○	
63	63	191	○	○	○	○	○	○	
64	64	192							○
65	65	193	○						○
66	66	194		○					○
67	67	195	○	○					○
68	68	196			○				○
69	69	197	○		○				○
70	70	198		○	○				○
71	71	199	○	○	○				○
72	72	200				○			○
73	73	201	○			○			○
74	74	202		○		○			○
75	75	203	○	○		○			○
76	76	204			○	○			○
77	77	205	○		○	○			○
78	78	206		○	○	○			○
79	79	207	○	○	○	○			○
80	80	208					○		○
81	81	209	○				○		○
82	82	210		○			○		○
83	83	211	○	○			○		○
84	84	212			○		○		○
85	85	213	○		○		○		○
86	86	214		○	○		○		○
87	87	215	○	○	○		○		○
88	88	216				○	○		○
89	89	217	○			○	○		○
90	90	218		○		○	○		○
91	91	219	○	○		○	○		○
92	92	220			○	○	○		○
93	93	221	○		○	○	○		○
94	94	222		○	○	○	○		○
95	95	223	○	○	○	○	○		○
96	96	224						○	○
97	97	225	○					○	○
98	98	226		○				○	○
99	99	227	○	○				○	○
100	100	228			○			○	○
101	101	229	○		○			○	○
102	102	230		○	○			○	○
103	103	231	○	○	○			○	○
104	104	232				○		○	○
105	105	233	○			○		○	○
106	106	234		○		○		○	○
107	107	235	○	○		○		○	○
108	108	236			○	○		○	○
109	109	237	○		○	○		○	○
110	110	238		○	○	○		○	○
111	111	239	○	○	○	○		○	○
112	112	240					○	○	○
113	113	241	○				○	○	○
114	114	242		○			○	○	○
115	115	243	○	○			○	○	○
116	116	244			○		○	○	○
117	117	245	○		○		○	○	○
118	118	246		○	○		○	○	○
119	119	247	○	○	○		○	○	○
120	120	248				○	○	○	○
121	121	249	○			○	○	○	○
122	122	250		○		○	○	○	○
123	123	251	○	○		○	○	○	○
124	124	252			○	○	○	○	○
125	125	253	○		○	○	○	○	○
126	126	254		○	○	○	○	○	○
127	127	255	○	○	○	○	○	○	○

ネットワーク設定

ネットワーク操作までの手順

1 動作環境を確認する（☞ P1）

2 パソコンとカメラをネットワーク接続する

3 パソコンのネットワーク情報を設定する
パソコンに IP アドレスなどを設定してください。

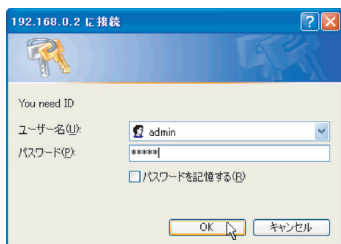
4 付属の CD-ROM 内“H.264 プラグイン”をパソコンにインストールする
監視映像を H.264 方式で見ることができます。

5 Internet Explorer を起動する
対応ブラウザは Internet Explorer Ver.6.0 SP2 以上および Internet Explorer Ver.7.0 です。

6 Web ブラウザからカメラにアクセスする
Web ブラウザ（Internet Explorer）からカメラにアクセスし、admin ユーザー（管理者）としてログインしてください。

7 アドレスバーにカメラの IP アドレスを入力して［Enter］キーを押す
カメラにアクセスすると、ログイン画面が表示されます。
カメラに初めてアクセスするときは、次のように IP アドレスの初期値を入力してください。

［SSL］設定を“ON”にした場合は、IP アドレスの入力前に“https://”を入力してください。
IP アドレスの初期値でカメラにアクセスする場合、同じネットワーク内に同じアドレスの機器があるとアクセスできません。
その場合は、その機器のアドレスを変更してからアクセスしてください。

8 ユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックする
言語選択画面が表示されます。

カメラに初めてアクセスするときは以下の初期値を入力し、admin ユーザー（管理者）としてログインしてください。
- **ユーザー名：admin**
- **パスワード：admin**

9 言語ボタンをクリックする
ライブ画面に切り換わります。
２回目以降のログインは自動で切り換わります。
カメラに初めてアクセスしたときは、まず CLOCK SETTINGS で時刻の設定を行なってください。

仕様

■ カメラ

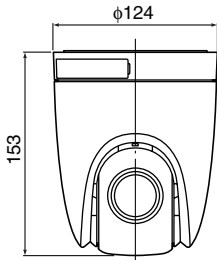
撮像素子	1/2.5 型 CMOS センサー
有効画素数	16:9 1920 (H) × 1080 (V)、4:3 1600 (H) × 1200 (V)
最低被写体照度	50IRE：2.0 lx (F1.8, カラーモード、ハイゲイン時) 50IRE：0.1 lx (F1.8 白黒モード、ハイゲイン時)
映像 SN 比	50dB 以上 (AGC が“切”の場合)
レンズ	焦点距離：f6.3-63mm、F ナンバー：F1.8-2.5 光学ズーム 10 倍､電子ズーム 16 倍（光学ズームとの併用で最大 160 倍）
回転範囲	パン：360 度エンドレスパン チルト：-20 ～ +200 度
回転速度	パン：最大 350 度／秒 チルト：最大 350 度／秒（マニュアル操作時：0.1 ～ 120 度／秒）
プリセットポジション	最大 256
オートモード	シーケンシャル、オートパン、ツアー、自動復帰
プライバシーマスク	入 / 切、最大 32 箇所
モーション検出	入 (検出領域設定可、ビデオアナリティクス)/ 切、顔検知機能
自動追尾	ON/OFF
揺れ補正	ON/OFF
言語選択	英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、日本語

カメラ仕様の詳細は、電子マニュアルをご参照ください。

■ 入出力

映像出力	HD 出力：HDMI 端子（タイプ C） モニター出力：BNC 端子（MONITOR OUT）
LAN	10BASE-T/100BASE-TX（RJ-45 端子）
EX-HDD 端子	外付けハードディスクケースの接続用
SD カードスロット	1（SDHC 規格対応、最大 32GB まで対応）
アラーム入力	4（NO/NC）、デイナイト切換入力兼用
アラーム出力	2（NO/NC 切換、16V、150mA、オープンコレクター）
音声入出力	音声入力（白：3.5 ミニジャック） 音声出力（黒：3.5 ミニジャック）
通信方式	RS-485
プロトコル	SSP、PELCO-D
ボーレート	2400、4800、9600、19200
アドレス	1 ～ 255（sanyo SSP: 1 ～ 127）

■ 記録メディア

SD メモリーカード 外付けハードディスク	通常記録、アラーム記録、ネットワーク記録障害時のバックアップ記録、ログ情報

当社推奨の SD カードおよび、ハードディスクについては、当社ウェブサイトをご覧ください。
http://www.sanyo-cctv.net/

■ ネットワーク

画像圧縮	H.264/JPEG
画像サイズ（H.264）	(16:9) 1920 × 1080、1280 × 720、640 × 360、320 × 180 (4:3) 1600 × 1200、1280 × 960、1024 × 768、640 × 480、320 × 240
画像サイズ（JPEG）	(16:9) 1920 × 1080、1280 × 720、1024 × 576、640 × 360 (4:3) 1600 × 1200、1280 × 960、1024 × 768、800 × 600、640 × 480、320 × 240
画質	画質優先モード：BASIC、NORMAL、ENHANCED、FINE、SUPER FINE ビットレート優先モード：ビットレート設定可
インターフェース	10BASE-T/100BASE-TX
プロトコル	TCP/IP、UDP、HTTP、HTTPS、SMTP、NTP、DHCP、FTP、DDNS、RTP、RTSP、RTCP
音声	G.711（双方向）
同時アクセス	20
セキュリティ	BASIC 認証（ID/ パスワード）、SSL 対応、IP フィルタリング

■ その他

動作周囲温度 / 湿度	-10℃～ 50℃ 90% RH 以下（結露なきこと）
電源	• DC12-15V • AC24V ± 10%、50Hz/60Hz • PoE
消費電力	21W (PoE: 12.3W)
質量	1350 g
外形寸法	単位：mm φ124 153

外観および仕様は、お断りになしに変更する場合がありますのでご了承ください。

著作権について

ソフトウェア､取扱説明書は三洋電機株式会社の著作物です。三洋電機株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の内容の一部、またはすべてを複製・改版、および複製物の配布、無断転載することは固くお断りします。
Microsoft、Windows、ActiveX、Internet Explorer は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。
Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
本文中では、Microsoft® Windows® XP Operating System、Microsoft® Windows® Vista Operating System を Windows と表記しています。ご了承ください。
Intel ならびに Pentium は、Intel Corporation とその系列会社の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。
IBM ならびに IBM PC/AT は、International Business Machines の商標です。

HDMI、HDMI ロゴならびに High Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の登録商標もしくは商標です。

SDHC ロゴは商標です。

この取扱説明書で使用されているその他のすべてのブランドや商品名はそれぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

■ データ保存について

- 大切なデータは別のメディアにコピーすることをおすすめします。
- 下記などの場合、記録したデータが消失（破壊）することがあり、データの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
  - ・メディア（SD カード、および外付けハードディスク）の使用方法を誤ったとき
  - ・メディアが機器に正しく装着されなかったとき
  - ・メディアが電気的、機械的なショックや力を受けたとき
  - ・メディアへのアクセス中に、メディアを取り出したり、機器の電源を切ったとき
  - ・メディアが寿命になったとき

■ CD-ROMのソフトウェアライセンス

- 本 CD-ROM に収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容をご確認のうえ、同意された内容において使用することができます。
- 本 CD-ROM で紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
保証書は販売店（または工事店）でお渡しいたします。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から 1 年間です

- 保証書記載内容により、お買い上げ販売店（工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 定期点検・保守の実施をおすすめします。
- 保証期間経過後の修理については、販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機が故障した場合の営業損失は保証対象外になります。
- 当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、8年保有しています。また、販売店（工事店）からの注文により、補修用性能部品を販売店（工事店）に供給します。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店（工事店）にお問い合せください。

修理を依頼されるときは
下記の事項をお買い上げ販売店（または工事店）にご連絡ください。
① 品番：VCC-HD5400
② 故障の状況（できるだけくわしく）
③ 製造番号（保証書に記入）
④ お名前、おところ、電話番号

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせなどのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	
電話番号	（　　　）　　ー

修理相談窓口　三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日〜金曜日　9:00〜18:30（7月〜8月　8:45〜19:30）
　　　　　土曜･日曜･祝日･当社休日　9:00〜17:30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください。
修理相談窓口の名称･電話番号は変更することがあります。

<table>
<tr><td rowspan="3">東コールセンター
(050-がご利用できない場合は、
東京03-5302-3401へおかけください)</td><td>北海道地区</td><td colspan="2">050-3116-2333</td></tr>
<tr><td>東北地区</td><td colspan="2">050-3116-2444</td></tr>
<tr><td>関東・甲信越地区</td><td colspan="2">050-3116-2222</td></tr>
<tr><td rowspan="6">西コールセンター
(050-がご利用できない場合は、
大阪06-4250-8400へおかけください)</td><td>近畿地区</td><td colspan="2">050-3116-2555</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中部・北陸地区</td><td>北陸</td><td>050-3116-2555</td></tr>
<tr><td>中部</td><td>050-3116-2666
沼津地区は、
050-3116-2222</td></tr>
<tr><td rowspan="2">中国・四国地区</td><td>中国</td><td>050-3116-2777</td></tr>
<tr><td>四国</td><td>050-3116-2555</td></tr>
<tr><td>九州地区</td><td colspan="2">050-3116-2888</td></tr>
</table>

沖縄地区	098-944-5018

(※) 沖縄地区の受付時間：月曜日〜土曜日　9:00〜17:30（日曜、祝日及び当社休日を除く）

修理相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

修理相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>

- 修理相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.comをご覧ください。

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー　DI事業部　DS商品部　DS商品課
〒136-0071　東京都江東区亀戸1-42-20　☎東京(03)5858-3353
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1ー1　☎大東(072)870-6277

1AC6P1P4034--
L5DG2/XE, US, JP (1109KR)

SANYO Electric Co., Ltd.